

2025年～能登半島地震から1年・阪神淡路大震災から30年～
「目で聴くテレビ」は、緊急災害時のリアルタイム手話翻訳映像配信や手話と字幕のオリジナル番組制作で、きこえない人・きこえにくい人の情報アクセシビリティ向上と、誰一人取り残さない社会の実現をめざします。

「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています。

聴覚障害者用情報受信装置「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

障害者放送通信機構は、全国の都道府県・市町村に対して福祉避難所で「アイ・ドラゴン4」を活用し、「防災体験会」を定期的に開いていただくよう要望しています。

防災体験会の例

- 個別避難計画(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常時持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「アイ・ドラゴン4」で「目で聴くテレビ」の防災動画を見て基本的な防災減災の知識を得る



「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする[情報アクセシビリティ対応機器](#)です。



～東京2025 デフリンピック～デフリンピック100周年&日本初開催

11月15日から11月26日まで「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が開催されます。世界の70～80の国や地域から約3,000人のデフアスリートが集結し、21競技で熱い戦いを繰り広げます。



3つの大会ビジョン

- 1, デフスポーツの魅力や価値を伝え人々や社会とつなぐ
- 2, 世界に、そして未来につながる大会へ
- 3, 誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会の実現



「目で聴くテレビ」は、国際オリンピック委員会(IOC)が「デフリンピック」の名称を許可した「第19回デフリンピックローマ大会」以降、2022年の「第24回デフリンピックカシアス・ド・スル大会」まで6大会をすべて取材している日本で唯一のメディアです。大会ごとに撮影取材して番組配信し、過去のデフリンピック番組はアーカイブにすべてアップしています。今春、デフリンピック番組の最新作を放送します。どうぞお楽しみに！！